

根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2012/1/10 実施)

2012/1/19 文責/編集:相澤

参加者:相澤、市川、染谷、高橋、西澤、三井、三嶋、山田(洋)

今回はやっとかさ姿を見せ始めた冬鳥がいるので、それを観察する鳥類調査と、間伐を予定している樹木の確認や、普段立ち入らない“郭”の部分を良く見て、根木内の樹木や台地部の植生を観察しました。

◇**観察した野鳥** 観察順 今回は個体数の記録はしていません。

●湿地部:ツグミ、ヒヨドリ、セグロセキレイ、ハシブトガラス、アオジ、ハクセキレイ、メジロ、コゲラ、エナガ

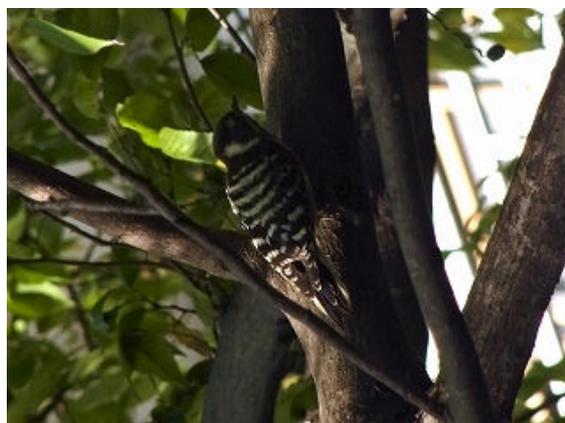
●台地上(城址部):エナガ、ヒヨドリ、シメ?

●今月も湿地部で多くの種を見ることができました。先月は見られなかったツグミ、アオジ、メジロ、コゲラ、エナガといった種も確認できました。台地部では種数は少なかったですが、シメらしき鳥影を確認しました。全身をみることはできませんでしたが、根木内でこれまでも見られている鳥で“?マーク”はつくものの、シメであったと思われます。

◇**今日のお気に入り**

今回は個人ごとの感想に写真を添えてそのまま掲載します。相澤の不手際のせいで、メールで後日感想を送っていただいた方のみのもものとなっております。申し訳ございません。

今回の観察会では、エナガの群れに遭遇。と言っても、はるか上の梢の間を行ったり来たり、私の腕では、双眼鏡で捉えるのがなかなか難しい。そのうちにギーというコゲラの声、ツピーと、シジュウカラらしき声、この時期によく見られる混群というのでした。メジロも確認できました。一度に色々な鳥に出会えてうれしくなります。ところで、この鳥達は餌の取り合いにはならず、一緒にいることで都合のいいことがあるのでしょうか。調べてみると、餌が見つかりやすいからと、外敵に早く気付くことができるからとなっていました。



コゲラ(松戸市内で撮影)



オトメツバキ

この公園の台地部分、今芝生広場となっている所には、かつて、個人の住宅があったそうですが、その頃に庭木として植えられたと思えるツバキ、サザンカの木が何本かあります。長い間手入れもされずに野生化して、花も小さいですが、赤や、ピンク、白と咲いてました。アジサイの植栽の奥とか、広場の端の方とかにあるので、目立ちにくいですが、見てやって下さい。

(市川)

根木内歴史公園はすっかり冬の装いになっていました。落葉樹は皆葉を落とし、裸になった枝には冬芽が小さく付いているのが見られました。足元にはかさかさになった落ち葉がいっぱい。踏むと足裏にかすかに押し返すような弾力を感じました。

この冬初めてのツグミとの出会い...この公園に来る頃には群れを成さずどれも一羽でいます。その特有な歩き方...はねるように数歩歩き立ち止まって、遠くを見つめるように胸を張る... (そう言う風に私には見えます) 意外と人をあまり畏れず、慌てて飛び去ることもないこの鳥には親しみを覚えます。



ツグミ (一昨年に撮影)



ツチイナゴ (染谷さん撮影)

茶色くなった落ち葉の所から、さっと飛んだ者がいました。何だろう...? よく見ると6センチくらいもあるバッタです。私が見たことのない白とグレーと黒と薄茶色からなる姿。家に帰ってから調べてみたら、「ツチイナゴ」だそうです。幼虫のうちは緑色をしているのです。成虫は10月頃から現れ始め、冬になるとそのまま草原の枯れ草の下などで越冬するそうです。

大きな樹の上の方からは野鳥の音がいろいろと...コナラには長い尾の沢山のエナガが...コゲラやメジロも混じっているのが下から見られました。寒い中で小鳥たちは元気です。私独りでは中々見付けられないその姿...お仲間と一緒に楽しく観察できました。

大きな樹の下には木漏れ日を受けて、小さな植物たちが成長しています。中でも人目につかないところにヤブコウジの群れが赤い小さな実をつけている姿を見つけたときはとても嬉しく思いました。落ち葉は足元を包み、栄養にもなって、ヤブコウジをささえているのでしょうか...少しずつ増えていって欲しいです。



アジサイの新芽



ミズキの新芽

代謝活動を落として、生理的に冬眠するのではなく、なるべく日当たりが良く暖かい環境に身を置いて冬をやり過ごしているそうです。暖かい日には活動し、わずかながら、餌も食べるそうです。終日凍結するような環境では多くが春を迎えられずに死亡することが多いようです。越冬に不向きな環境ではしばしば飛んで移動することもあるそうです。厚い落ち葉の層に囲まれた所で、冬越しをしている最中だったようです。邪魔をしてしまったようです。

野草ではヒメオドリコソウがつぼみをつけていたりタンポポが小さな花を咲かせていたり、タネツケバナの美しいロゼットがあつたり...これから大寒が来るのですが、春も遠からじの感じがしました。

樹木では紫陽花やミズキの冬芽や葉痕も、とてもきれいで、見ていて楽しくなりました。また大きなイヌシデの幹の樹皮はなめらかで縦縞模様の灰白色...いつ見ても美しいなあと感じながら見上げてしまう樹です。

今日は何だかお気に入り感がとても沢山あったような気がします。

(染谷)

うす氷のはった湿地でハクセキレイとセグロセキレイがさかんにエサをついばんでいました。枯れたヨシの群のなかでは、アオジ、ただしアオジはなかなか姿をみせてくれませんでした。先月はまだきていなかったツグミがやってきました。ツグミを見ると「冬」という感じが増します。湿地に井戸を掘ったことで、以前冬には乾いていた場所も湿っており、霜柱がたくさん見られます。



霜柱



ヒメオドリコソウの蕾

朝の気温はかなり寒かったですが、お日さまとともに、すこ〜し暖かくなってきました。田んぼにはタネツケバナが伸び始めています。(花はまだですが) 陽当たりのよいところで、ヒメオドリコソウがかわいらしいツボミをつけていました。広場のウメのツボミは、小さいながら赤くなっていました。まだ寒い冬ですが、春の準備を見つけることは楽しいですね。

エナガ、コゲラ、メジロ、シジュウカラが高い木の上で群れています。双眼鏡で姿を確認しようとするのですが、エナガは少しもじっとしておらず、とらえるのに苦労しました。しばらく同じ樹上であそび、順々に次の樹に移っていきます。今回は土塁や郭に生えている樹木も観察しました。生い茂るままになっている樹木はお互いに寄り添ったり、隙間をついたり、すこしでも陽の光を確保しようと必死で伸びています。



タネツケバナのロゼット (染谷さん撮影)



ヤブコウジ

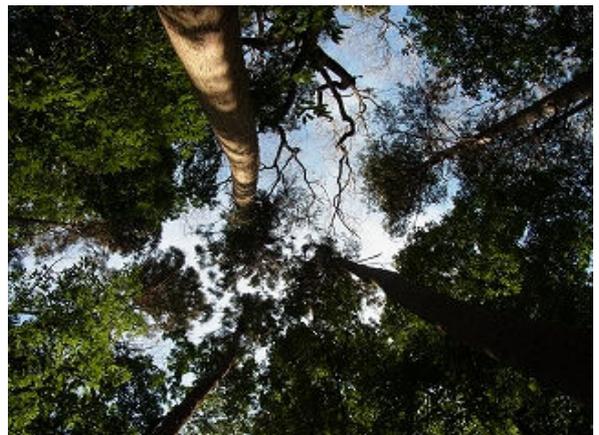
歴史的文化財と自然保護と両方の観点から、今後これらの樹木をいかに管理するか、課題だとも思います。やぶのなかでは、ヤブコウジの群落がみられ、赤いかわいらしい実をつけていました。

(西澤)

◇樹木の状況～番外編～

今回は番外編として、樹木の状況について見たものを報告いたします。(文責：相澤)
台地部の樹木を間伐するということを知り、み
なで様子を見に行きました。

まず議論のまとなったのが、スギを間伐する
ことの意義について。スギを間伐しても、右の
写真を見てもわかるように、明るくなるのはわ
ずかな面積のみ。混みすぎているから切るとい
うのも一理あり(病原菌の大発生を防ぐためな
ど)。しかし城址にスギを植えたというのは、植
林以外の文化的な意味が何かあるかもしれず、
特に大木は切るべきでないというのもまた一理
あり。自然的・文化的背景をしっかりと調べ、
議論を重ねていく必要があります。



スギの樹冠



土塁に生えたイヌシデ

土塁に生えたイヌシデは、落葉樹で下草には
あまり影響しませんが、根が露出して危険な
ものあり。根が張っているため、残した方が
崩れないとの意見と、倒木したらそれでおし
まいだから、切った方が良いのでは?という意
見(相澤のみ??)と割れました。ひとまず、
間伐ということで落ち着きました。それにし
ても、イヌシデの幹は美しいと、みなさん絶
賛でした。

下の写真は郭の中の樹冠(左)と低木層(右)を写したもの。上部は開けているので、ア
オキなどの低木を伐採し落ち葉かきをしたら、キンランやシュンランが咲くかもしれませ
んね。これもまた議論の必要アリですね。



郭の中の樹冠が開けている場所



下層はアオキで覆われている



イヌシデ（染谷さん撮影）：樹皮の美しさに皆魅了されました。



ハリギリ：郭の中にある大木。実をつけていました。



シラカシの実生の森：どんぐりから芽を出したばかりのシラカシが集中して生育していました。足首の高さの小さな森です。



トベラの実生：この木何の木？周囲に親木は見つからず、鳥が運んで来たのでしょうか？

アオキについて

郭の中や土塁に数多くあるアオキ、陰樹であり陽があたらなくとも育ち、鳥に実を食べさせる戦略をとり、とりのふんで子孫を増やす樹木のひとつです。実が大きいので、かなり大形の鳥しか食べることができませんね。実をもってきて植えた、我が家の庭のアオキ（長野県から）は斑入りです。他の樹木の実に比べると簡単に発芽するような気がします。千葉県は、石ではなく土でできているため、あまり聞くことがありませんが、石垣を作る際、海辺の城は石を滑らすのに沢山ある海藻を使い、山城はアオキの葉を使ったとか、城の本を読んでいるときにふと目にとまった一文でした。名字帯刀が許された時、石職人はアオキ姓を許されたとか。松戸に住むようになってあまり聞かれない名字です。

（高橋）

根木内歴史公園の湿地の観察会は毎月第2火曜日に行っています（雨天時は次の日に延期）。2月は14日（火）の予定で、集合は冬時間ということで、10時に公園駐車場となります。春休みということで千葉大の植物同好会のメンバーが来られるかもしれません。観察は昼までで、公園内で昼食を食べて解散です。

お問い合わせ（千葉大・相澤）

E-mail : akihitoaizawa@gmail.com